

## 知財セミナー（図面編）

### 意匠図面作成の最前線－意匠図面作成の現状と今後の在り方を学ぶ

#### ■講師 田中龍志 氏

1979年姫路工業大学（現兵庫県立大学工学部）卒。設計会社、工作機械メーカー勤務を経て、1990年ニテコ図研を設立し、代表取締役役に就任。テクニカルイラスト、特許・意匠図面、3Dデータ・CG作成サービスを主な業務として、現在に至る。日本ビジュアルコミュニケーション協会関西支部長、テクニカルイラストレーション1級技能士

#### ■概要

デザインの保護に必要な意匠出願の中で、最も大きなウエイトを占めるのが図面です。意匠出願する際、図面をどのように準備すれば良いか、悩むところではないでしょうか。既に手元にある製作図や現物、或いは試作品など、そのままでは意匠図面としては成立しません。意匠図面作成を依頼する際には、最適な資料を準備する必要があります。また、現在ではCAD設計・グラフィックソフトなどの発達により、今までできなかった図面表現も可能です。図面作成の際に押さえておきたいポイントや3Dも含めた最新の意匠図面作成の今を解説いたします。

#### ■会場：〒100-0005

東京都千代田区丸の内3丁目5-1

東京国際フォーラム G407 会議室

#### ■日時：2013年12月6日（金）

13：30～16：30（質疑応答含む）

#### ■定員：40名 ※先着順

#### ■共催：株式会社知財コーポレーション

#### ■申込受付：2013年12月1日まで

※定員になり次第締め切ります。

#### ■受講料：10,000円

※NIPTA会員は30%割引

※アメリカ会員は15%割引

※大学生は更に割引有（学生証を提示要）

この研修は、日本弁理士会の継続研修として認定を受けております。この研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として3単位が認められる予定です。申請を希望される方は、弁理士登録番号を添えて、お申込み下さい。

なお、15分以上の遅刻をした場合には、受講したものと認められません。公共交通機関等の遅延、自己の行為に起因しない理由であっても、受講したものと認められませんので、時間に余裕をもって会場にお越しください。また、中座、早退の場合については、時間にかかわらず、受講したものと認められません。

#### ■内容

- ・意匠図面の基礎知識、基本的な記載方法  
意匠図面、昔と同じやり方、続けていませんか。
- ・特許図面との違い、一般図面との違い  
特許図面は意匠図面に使えない。  
意匠図面を描いてから特許図面に利用。  
一見左右対称でも、片面を省略できない場合がある。
- ・意匠図面の最終仕上げの要点  
最も厄介な稜線表現。じつは人によってマチマチ。
- ・出願ソフトで扱われるデータ形式  
内容は単純でも、枚数が多いと意外に時間のかかるファイル処理。
- ・3Dデータの有効な活用  
3Dデータがあれば本当に全てが簡単にできる？  
写真、現物試作、図面、3Dデータの4種類の資料があるけれど、信じていいのは？
- ・線図以外の表現（CG、写真）  
CG表現にも色々あり。3Dレンダリング、3DCADシェーディング等。
- ・部分意匠、関連意匠、断面図への対応  
自由曲面形状は6面図だけでは表現できない。
- ・効率的な図面作成を目指して  
線画、写真、CGでの作成、最も工数が少ないのは？  
ワードで図面を描く？世の中には多くの無料ツールがあります！

#### ■まとめ

#### ■対象

企業知的財産部や特許事務所にお勤めの方で出願業務に携わっておられる方、意匠図面に興味のある方  
※具体的な図面作成のスキルを身に付けるセミナーではございません。

#### ■申込方法：下記FAXまたはe-mail

(seminar@nipta.org 宛)

にて、件名に『知財セミナー（図面編）申込』とご明記の上、下記必要事項をご記入し、お送り下さい。  
<お申込先>

☆FAX:03-5909-1189

☆e-mail: seminar@nipta.org

<必要記入事項>

- 1：お名前
- 2：フリガナ
- 3：お勤め先（または学校名）
- 4：郵便番号
- 5：ご住所
- 6：TEL/FAX
- 7：e-mailアドレス
- 8：申込セミナー名
- 9：ご経験（あれば）
- 10：ご質問事項
- 11：当講座をどちらでお知りになりましたか？

のちほど、事務局から参加に関するご案内状とご請求書をお送り致します。

※お申込後、営業日数日以内に事務局から連絡のない場合、恐れ入りますが、お電話にてお問合せ下さい。